

## Chapter 3 | ベース・ラインの作成

を登場させていました)。コード進行は [A | D | C#m7 | Bm7 | F#m7 | Bm7 | D | E7] とします。パターンは、やはりロックには 8 分ルート弾き (Note64) が似合いますよね。さらに、テンポ=180 なので、疾走感も出したいところですので。4 拍子とした 17 小節目 2 拍アタマの音符を 8 分でシンコペーションさせてしまいましょう (後半も同様に、22 小節目 2 拍アタマをシンコペーション) (Fig076)。それ

に伴い、同箇所のハイハットをクローズからオープンに替え、ベロシティも [Vel=100] に上げておきます。

通して聴いてみると、優雅なジャズ・ワルツがノリの良いロックへ変わっていく様子が窺えると思います。ただし、この 24 小節間だけで 1 曲としてしまうのはまだ弱い (展開が急すぎる) ので、後でもう少し拡大させることとしましょう。

### ◆Note64: 8分ルート弾き

ルート音のみを 8 分音符で続けて弾くベース奏法の 1 つ。スピード感や安定感を印象づかせることが出来、ロックで多用される。関連語: 8 ビート、ルート

Fig076 ピアノ・ロール4小節分 (17~24小節) [076.wav](#)